

あ い さ つ

埼玉県環境部長 角、井 信

公害の防止をはじめとする環境の保全につきましては、県民の健康を守り、快適な生活環境を確保するという観点から、県政の重要課題の一つとして積極的に取り組んでまいったところであります。

近年、国・地方公共団体・事業者等の一体となった公害防止努力によって、本県の環境汚染は、かつての危機的な状況を脱し、総体的には改善してきておりますが、なお環境基準の達成、維持に向けて一層の努力をしなければならない分野も残されております。また新たに生活排水、近隣騒音、交通公害、廃棄物など都市・生活型公害といわれる環境問題、更には世界的な石油受給の逼迫に伴う石炭等の石油代替エネルギーの開発利用による環境汚染等、県民の健康に影響を与える諸問題も生じてきております。

埼玉県公害センターは、昭和45年10月に公害に関する試験研究機関として発足以来すでに10年、この間、公害防止の推進に少なからず成果を上げてまいりましたが、今後さらに過去の貴重な成果を踏まえながら、時代に即応した研究の充実、発展を期していく必要が痛感されます。

このたび、公害センターにおける過去10年間にわたる調査研究の歩みを冊子にとりまとめられましたが、環境問題に関心の深い皆様のお役に立ちますれば幸いに存じます。

どうぞ今後とも御指導、御協力をお願い申し上げます。